

『インド学チベット学研究』22号-神子上恵生先生追悼号の原稿募集について

インド哲学研究会
若原雄昭

すでにご承知の通り、2018年3月18日、本研究会および本誌の創設者である神子上恵生先生が83歳を一期として御往生されました。インド哲学研究会では先生の御遺徳を偲び『インド学チベット学研究』第22号を先生への追悼号として発刊する予定です。つきましては御関係の皆様をはじめとして日頃の御研鑽の御成果をぜひとも本号にご寄稿いただきたく下記の通り原稿を募集いたします。

なお当会では安定的に雑誌を発刊し、主要研究教育機関への送付・インターネットでの公開などを継続してゆくために、原稿掲載料を徴収しております。また提出していただく原稿ファイルの形式につきましても若干の規定がございます。詳しくは《第22号投稿規定》(22kitei.pdf)を参照してください。

記

<掲載誌> 『インド学チベット学研究』第22号

<発刊日時> 例年通り（年内発刊）を予定しております

<執筆申し込み> 2018年7月末日までに編集者まで投稿の意思表示をすること。その際、論文のタイトル、400字程度のアブストラクト、予想される原稿の分量をお知らせください。

<原稿締め切り> 2018年9月末日

<提出先> インド哲学研究会(詳細については事前に問合せください)

<分量> 自由。ただし誌面の占有量に応じて掲載料を徴収します。詳しくは《第22号投稿規定》(22kitei.pdf)を参照してください。

<提出形式> ①当会の規定に基づいたテフ形式、②当会が規定する入力方法に基づいたMS-Word形式。①、②いずれかとする。ただし②を選択した場合は通常の掲載料に加えて所定のデータ加工料を徴収します。詳しくは別紙の《第22号投稿規定》(22kitei.pdf)を参照してください。

<添付資料> ①ネイティブチェックを受けた英文レジュメ（当誌の誌面で半ページ程度）、②欧文タイトル、③論文キーワード(3-5個)、④執筆者の氏名、所属、連絡先。

<抜刷> 論文のPDFファイルを公開いたしますので執筆者で作製してください。希望者には業者の紹介と見積もりの連絡をいたします。

- ・論文掲載にあたっては編集責任者の査読をうけていただきます。
- ・完成原稿で提出してください。査読終了後に大量に書き直しが発生したものは掲載をお断りする場合があります。
- ・雑誌の最終的なレイアウトについては編集者にご一任ねがいます。
- ・掲載された論文は、当会の規定に従ってウェブサイト上で公開することを承諾していただくものといたします。
- ・掲載にあたり執筆者が負担する料金は、原稿校了後、当会が指定する方法でお支払い願います。
- ・事務上の連絡は乗山(nrymstr@gmail.com)までお願いします。

以上